

# 令和5年度【美術科】教育指導計画

## (1) 科目の配当・分担表

学年	科目	担当者
1	美術	宣 昌大
2	美術	宣 昌大
3	美術	岡 優七

(2) 指導計画表

科目	美術	学年	1年	担当者	宣 昌大
<p>1. 授業の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 授業の方法</p> <p>●表現の活動を通して、感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などで表現する。 また、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などで表現する。</p> <p>●鑑賞の活動を通して、美術作品やデザインされたもの、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞活動をする。</p> <p>3. 評価の方法</p> <p>作品、ワークシート、レポートによる3段階評価（ABC）および、3学期に30点満点のパフォーマンス課題。</p> <p>4. 授業の方法や形式</p> <p>基本的には美術教室にて、4人ひとグループによる座席での活動。</p>			<p>5. 年間計画</p> <p>基本的に週2回の授業、年間70時間を予定</p> <p>【1学期】</p> <p>[色彩学習] 自分だけの色見本制作から、豊かな混色を生み出す。</p> <p>[色彩学習] 言葉の内容から想像した色で文字を着色し、色の効果でより文字の意味を伝える。</p> <p>[工芸] 自身が感じ取った風を音が鳴る陶芸作品で表すことを通して、自然を意図的に感じ取る態度を養う。</p> <p>[鑑賞] 身の回りの文字のデザインについてのレポート課題を通して、文字の色や形の工夫による伝達の特徴について考察する。</p> <p>【2学期】</p> <p>[絵画] 紙片への着色によって、対象と同化させる作品制作を通して、身の回りのものの色や形の造形的な特徴を見つめる視点を養う。</p> <p>[鑑賞] 日常から美を発見するレポートを通して、自分にとっての価値あるものを発見する。</p> <p>【3学期】</p> <p>[彫刻] 対象の石を粘土で作成。その際に、対象の石の色や形の特徴から、過去の姿を推測し、その姿を制作することで、造形的な特徴を捉える視点を養う。</p> <p>[デザイン] 石の作品を紹介する図鑑の1ページを作成することから、作品に込めた工夫や発想を伝える。</p>		

科目	美術	学年	2年	担当者	宣 昌大
<p>1. 授業の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 授業の方法</p> <p>●表現の活動を通して、感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などで表現する。 また、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などで表現する。</p> <p>●鑑賞の活動を通して、美術作品やデザインされたもの、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞活動をする。</p> <p>3. 評価の方法</p> <p>作品、ワークシート、レポートによる3段階評価（ABC）および、1、2、3学期に1回ずつ30点満点のパフォーマンス課題。</p> <p>4. 授業の方法や形式</p> <p>基本的には美術教室にて、4人ひとグループによる座席での活動。</p>	<p>5. 年間計画</p> <p>基本的に週1回の授業、年間35時間を予定</p> <p>【1学期】</p> <p>〔絵画〕自分の感情を色と行為から抽象的に表す作品制作を通して、写実とは違う絵画表現を知る。</p> <p>〔鑑賞〕日常から美を発見するレポートを通して、自分にとっての価値あるものを発見する。</p> <p>【2学期】</p> <p>〔デザイン〕食品サンプル制作を通して、食欲を刺激する効果を意図した演出から、作品を通して鑑賞者の心を動かすデザインについて考える。</p> <p>〔鑑賞〕日常から美を発見するレポートを通して、自分にとっての価値あるものを発見する。</p> <p>【3学期】</p> <p>〔デザイン〕食品サンプル作品を紹介するポスターを作成することから、より見た人の気を引く工夫をする。</p>				

科目	美術	学年	3年	担当者	岡 優七
<p>1. 授業の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 授業の方法</p> <p>●表現の活動を通して、感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などで表現する。 また、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などで表現する。</p> <p>●鑑賞の活動を通して、美術作品やデザインされたもの、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞活動をする。</p> <p>3. 評価の方法</p> <p>作品、ワークシート、レポートによる3段階評価（ABC）および、1、2学期に1回ずつ30点満点のパフォーマンス課題。</p> <p>4. 授業の方法や形式</p> <p>基本的には美術教室にて、4人ひとグループによる座席での活動。</p>			<p>5. 年間計画</p> <p>基本的に週2回の授業、年間70時間を予定</p> <p>【1学期】</p> <p>[鑑賞・表現]身の回りの環境を普段とは違ったアングルから観察し、写真を撮る、スケッチ等で記録する。</p> <p>[絵画]普段過ごしている環境を自分なりの視点から観察し、風景を作品に残す。</p> <p>[鑑賞]お互いの作品を鑑賞し、表現の工夫や身の回りから発見した良さを共有する。</p> <p>[彫刻]石の形状変化の過程の知識を活用し、選んだ石の過去の姿を自分なりに表す。</p> <p>【2学期】</p> <p>[デザイン]ランプシェードの作成を通して、生活空間の中での灯りの役割について考える。光源と材料の組み合わせにより自分なりに空間を演出する。</p> <p>[鑑賞]お互いの作品を鑑賞し、表現の工夫や身の回りから発見した良さを共有する。</p> <p>【3学期】</p> <p>[表現]自分で選択した材料や表現方法を用いて現在の自分を作品に表す。</p>		